発行日 2021年02月01日
改定日 2025年03月27日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
製品名称 : セメダイン タイルエースF
製品番号 (SDS NO) : 0435-2
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : タイル用接着剤(業務用)
使用上の制限 : 推奨用途以外での使用を避ける
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : セメダイン株式会社
住所 : 茨城県古河市下大野2184
担当部署 : 品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号 : 0280-92-4518
FAX : 0280-92-1947
e-mail address : emg@cemedine.co.jp
緊急連絡先電話 : 0280-92-4518
月曜～金曜(祝日除く)
8時30分～16時50分まで(言語:日本語)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2
発がん性:区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(呼吸器)
(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素

注意喚起語:警告
危険有害性情報
H319 強い眼刺激
H351 発がんのおそれの疑い
H371 臓器の障害のおそれ(呼吸器)
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器)
注意書き
安全対策
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

化学的特定名 : 変性シリコーン系弾性接着剤

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
ドデカン	1 - 5	112-40-3	2-10
酸化チタン(IV)	1 - 3	13463-67-7	1-558; 5-5225
酸化カルシウム	1 - 2	1305-78-8	1-189
アルコキシシラン	0.1 - < 1	非公開/未登録	非公開/未登録
すず及びその化合物	0.1 - < 1	非公開/未登録	非公開/未登録

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV) , 酸化カルシウム ,
ドデカン(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV) , 酸化カルシウム , すず及びその化合物 ,
ドデカン(令和7年4月1日施行)

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石鹸で優しく洗う。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防炎服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

皮膚に触れたり眼に入ったりしないように、不浸透性手袋などの保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

直射日光を避け容器を密閉し5～35℃で保管する。

(避けるべき保管条件)

高温、着火源(裸火、火花等)を避けること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(酸化カルシウム)

TWA: 0.2mg/m^3(令和7年10月1日施行)

許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2022) 1.5mg/m^3 (吸入性粉塵); 2mg/m^3 (総粉塵)

(酸化チタン(IV))

ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m^3(R) (下気道刺激; じん肺症)

(酸化カルシウム)

ACGIH(1990) TWA: 2mg/m^3 (上気道刺激)

(すず及びその化合物)

ACGIH(1996) TWA: 0.1mg-Sn/m^3;

STEL: 0.2mg-Sn/m^3 (眼及び上気道刺激; 頭痛; 吐き気; 中枢神経系及び免疫系影響)

[ACGIH] 特記事項

(すず及びその化合物)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性の保護衣を着用する。

---

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : ペースト状、固体

色 : 白色

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : 83℃(迅速平衡密閉法)

自然発火点データなし

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

pHデータなし

動粘度データなし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
溶媒の溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
蒸気密度データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.52g/cm^3
相対ガス密度(空気=1)データなし
20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度(空気＝1)データなし
粒子特性データなし
その他のデータ
臨界温度データなし
蒸発速度データなし
VOCデータなし

---

10. 安定性及び反応性
反応性
本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件
加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。 分解温度を超える温度を避ける。 混触危険物質との接触。
混触危険物質
酸化性物質
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物は知られていない。

---

11. 有害性情報
毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[成分情報:NITE分類]
(酸化チタン(IV))
rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)
(酸化カルシウム)
rat LD50=5000mg/kg (食品安全委員会添加物評価書, 2013)
(アルコキシシラン)
rat LD50 > 5345mg/kg (5mL/kg) (SIDS, 2004)
急性毒性(経皮)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]

[成分情報:NITE分類]
(酸化チタン(IV))
hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)
(アルコキシシラン)
male rabbit LD50=4244mg/kg (3.97mL/kg) (SIDS, 2004)

急性毒性(吸入)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[成分情報:NITE分類]
(酸化チタン(IV))
dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)
(アルコキシシラン)
mist: rat LC50 >5.3mg/L/4hr (REACH登録情報, Accessed May 2020)

労働基準法:疾病化学物質
すず及びその化合物

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[成分情報:NITE分類]
(酸化カルシウム)
皮膚刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
[成分情報:NITE分類]
(酸化カルシウム)
重度のやけど (ACGIH 7th, 2001)
(アルコキシシラン)
ラビット 角膜パンヌス、混濁が21日間持続 (2/18例) (OECD TG405) (SIDS, 2004; REACH登録情報, Accessed May 2020) et al.

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

皮膚感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

発がん性
[製品]
区分 2, 発がんのおそれの疑い
[成分データ]
[成分情報:NITE分類]
(酸化チタン(IV))
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)
[IARC]
(酸化チタン(IV))
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]
(酸化チタン(IV))
A3(as Finescale particles)(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(すず及びその化合物)
A4(as Sn)(1996): ヒト発がん性因子として分類できない
[日本産衛学会]
(酸化チタン(IV))
第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
酸化チタンは製品中に練りこまれており、吸入性の粉塵にはなりません。意図される方法で使用するまたは供給される形態なら、本製品によって原料の有害性を受けることはありません。

生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[成分情報:NITE分類]
(酸化カルシウム)
呼吸器 (PATTY 4th, 1993)
[区分3(気道刺激性)]
[成分情報:NITE分類]
(アルコキシシラン)
気道刺激性 (SIDS, 2004)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[成分情報:NITE分類]
(酸化チタン(IV))
呼吸器 (SIDS, 2015)
(酸化カルシウム)
呼吸器 (ACGIH 7th, 2001)

誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[区分1]
[成分情報:NITE分類]
(ドデカン)
cat. 1; kinematic viscosity=1.85 mm^2/s (計算値) (粘性率 : 1.383 mPa・s (25℃) (Lide 90th, 2009), 密度 : 0.748 g/cm^3 (20℃) (HODOC 3rd, 1994))

---

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[成分情報:NITE分類]
(酸化チタン(IV))
甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)
(酸化カルシウム)
魚類 (コイ) LC50=1070mg/L/96hr (IUCLID, 2000)
(アルコキシシラン)
魚類 (コイ) LC50=55mg/L/96hr (SIAR, 2004)
水生環境有害性 長期(慢性)
[成分情報:NITE分類]
(アルコキシシラン)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >=100mg/L/21days (SIAR, 2004)

水溶解度
(酸化チタン(IV))
溶けない (ICSC, 2002)
(酸化カルシウム)
0.12 g/100 ml (HSDB, 2004)

残留性・分解性
[成分データ]
(アルコキシシラン)
急速分解性なし (BIOWIN)

生体蓄積性
データなし

土壌中の移動性
データなし

他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : 該当しない

正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
本品はバルク輸送されない。
有害液体物質(Y類)
ドデカン; ドデカン
有害液体物質(Z類)
酸化チタン(IV)

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質
酸化チタン(IV); 酸化カルシウム

国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

---

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
酸化チタン(IV)(別表第9の191); 酸化カルシウム(別表第9の190);
ドデカン(令和7年4月1日施行)
名称通知危険/有害物
酸化チタン(IV)(別表第9の191); 酸化カルシウム(別表第9の190); すず及びその化合物(別表第9の322);
ドデカン(令和7年4月1日施行)
皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)
酸化カルシウム

化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法
指定可燃物
可燃性固体類(数量 3,000kg)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

---

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準: JIS A 5548 認証品
JIS認証番号:CE0308026 F☆☆☆☆
日本工業規格 JIS A 5557 認証品
JIS認証番号:CE0308032

ホルムアルデヒド基準:(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定

JAIA 011941 F☆☆☆☆

問合せ先 (http://www.jaia.gr.jp)

4VOC基準:(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のためのVOC(揮発性物質)自主管理規定

4VOC基準適合 JAIA 501537

問合せ先 (http://www.jaia.gr.jp)

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。